

# みんなのた場



## 桃生地区・桃生町永井字台

佐藤 愛音さん(18歳・筑波大学1年)  
 有澄さん(16歳・石巻高校2年)  
 葵さん(14歳・桃生中学校2年)  
 聡介君(11歳・桃生小学校6年)

佐藤正孝さん宅は妻のさよ子さん、長男の孝幸さん、直子さん夫婦、1男3女の孫4人の8人家族。登米市津山町との境に隣接し、近くを新北上川が流れる自然豊かな農村地帯の丘陵地に建つ自宅で、にぎやかに暮らしています。

自宅には、14畳ほどの広さがあるピアノが置いてある部屋があります。正孝さんが友人に勧められ、カラオケを楽しむために作った部屋ですが、すぐ近くに民家が無く、周囲を気にせずピアノを弾けることから、4人のきょうだいは幼

## 幼少から音楽に親しむ



右から葵さん、有澄さん、愛音さん、聡介君

いころから、入れ代わり立ち代わりピアノを弾き、音楽に親しんできました。こうした家庭環境で育ったことから、上の3姉妹は

いずれも桃生中学校では総合文化部の吹奏楽班、長女の愛音さんと次女の有澄さんは高校では吹奏楽部に所属。担当楽器は、愛音さんと三女の葵さんがクラリネット、有澄さんは中学ではバスケットボール、高校ではフットボールを担当しています。

長男の聡介君は、スポーツが得意で、幼稚園から水泳を習い、今はコバルトレ女川の地方スクールでサッカーを学んでいます。正孝さんや直子さんによると、愛音さんは「目標に向かって地道に努力するタイプ」、有澄さんは「家の仕事をよく手伝い、年下のきょうだいの面倒見が良い」「生活指導係」的な存在です。

葵さんは少しシャイな面もありますが「芯はしっかりしていて、陰で努力するタイプ」だそうです。聡介君は「天真らんまん」で素直な性格です。

自分の将来については、小学校教諭の両親のように「教職に就きたい」という有澄さん以外は、まだはつきり決めていませんが、直子さんは「自分の好きなことや長所を生かせる仕事を見つけてほしいです」と期待します。正孝さんも「自分の好きな道で、失敗を恐れずに頑張してほしい」と応援しています。

## 石巻市立桜坂高等学校

# 桜坂だより

第14号

こんにちは、桜坂高等学校です。  
 今年は新型コロナウイルスの影響で、夏休みも短期間となりましたが、その分桜坂生活を満喫しています♪



6月中旬に解禁となった部活動でも『3つの密を避ける工夫』に苦慮しているようですが、やっと桜坂高校らしい放課後の風景になりました。  
 写真は、毎年全国大会出場を果たしている空手道部の練習風景です。

9月5日(土)は、オープンキャンパスを予定しています。  
 私たちの学校を皆さんによく知っていただくチャンスです。  
 ぜひ、お越しくださいね!



受け付けで配布しているクリアファイルは、桜坂生がデザインしたものです。  
 (昨年のデザイン→)今年も素敵にできあがっています。  
 おたのしみに♪



オープンキャンパスでは、Pepper君も皆さんをお待ちしています。



# まきチャンネル + プラス



## 長年の公園美化活動に光

貞山町内会愛護会に国交大臣感謝状を伝達

花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体を表彰する国土交通省の「みどりの愛護」功労者に選ばれた「貞山町内会公園愛護会」(辻孝夫会長、会員39人)に6月9日、国土交通大臣からの感謝状が伝達されました。

市役所市長室で行われた伝達式には愛護会から会長と会計担当の浦川道子さんが出席。亀山市長が会長に感謝状を手渡し、「町内会を中心に長い間ご活躍いただき、本当にありがとうございます」と感謝しました。会長は「住民の自主的な活動が評価されて、うれしいです。受賞を地域の皆さんと喜び、励みしながら今後も頑張ります」と抱負を語りました。

愛護会は貞山三、四、五丁目の老人クラブ会員を主体に昭和57年4月に「南老公園愛護会」として発足。老人クラブ廃止に伴って、平成20年4月には町内会有志による公園愛護会が活動を引き継ぎ、地区内の公園11カ所の清掃や除草、施設の点検・補修などの環境保全、美化活動に積極的に取り組んでいます。



# 桃生 県道花壇を740本の花で飾る

地元設計会社社員が植栽活動



(株)西條設計コンサルタントの社員が6月20日、中津山第二小学校前の県道花壇にペゴニア、マリーゴールドなど4種類の花の苗740本を植える「花いっぱい運動」に取り組みました。地域貢献活動として県の「みやぎスマイルサポーター」に認定された平成21年から取り組んでいます。この日は社員30人が参加し、全長140m、幅1mの花壇に花の苗を2列ずつ手植えし、約1時間で作業を終えました。10月中旬まで咲き続け、通学する児童や地域住民に安らぎを提供します。

# Topic of town まちの話題



# 石巻 歴史に残る名船がずらり

サン・ファン館で帆船模型展

精密に作られた世界各国の帆船模型を展示する企画展「帆船模型から見る世界の船」が渡波のサン・ファン館で8月31日まで開かれています。会場の企画展示室には、コロンブスの航海で有名な「サンタ・マリア号」など同館が所蔵する帆船模型約40点が展示されています。国や時代によって異なる歴史的な帆船の雄姿がしのばれ、来館者の関心を集めています。



# 雄勝 白いウニ 来場者楽しませる

観光物産交流館の観賞用水槽

新しく開館した雄勝観光物産交流館内にある観賞用水槽に、真っ白いウニが入りました。このウニは地元の漁師さんから提供して頂いたもので、一般的に「アルビノ」と呼ばれる突然変異の個体と考えられます。白いウニは天敵に見つかりやすく、また個体としての生命力も強くないため、発見されるのはとても珍しいです。そんな珍しくもきれいなウニは、訪れた方々の目を楽しませました。



# 河北 広い草原でストレス解消

上品山牧場、繁殖牛34頭を放牧

市営河北上品山牧場で、黒毛和牛の繁殖牛34頭の放牧が行われています。放牧初日の6月26日は、市内の畜産農家13戸からトラックで次々と牛が運ばれ、体重測定、採血などを終えた後、広さ30haの放牧地に放されました。牧草の生育が悪く、例年より1カ月遅れの放牧開始でしたが、牛たちは10月30日まで4カ月間、広い草原でストレス解消と健康増進を図り、安定出産を迎えます。



# 牡鹿 踊りやカラオケで盛り上がる

寄磯・前網地区のお茶っこ会

寄磯・前網地区の皆さんが月2回定期的に集まる「お茶っこ会」が6月9日、寄磯地区集会所海友館ドイツハウスでありました。新型コロナウイルス感染症の影響で3カ月ぶりの開催。久しぶりに集まった十数人は茶飲み話に花を咲かせながら踊りやカラオケで盛り上がりました。市社会福祉協議会牡鹿支所の山崎支所長の老人クラブに関する講話も聞きました。



# 北上 裸足になって田植え体験

北上小3年生が環境保全活動

北上小学校3年生17人が6月9日、北上町女川の水田で田植えを体験しました。北上地区保全会などが主催する農村環境保全活動として平成25年から実施。児童たちは、保全会の会員から植え方の指導を受けた後、裸足で水田に入り、もち米「みやこがねもち」の苗を丁寧に手植えました。作業終了後は、ナマズのがっこう(栗原市)の三塚事務局長らを講師に、米作りの勉強会もしました。

